

地球ギャラリー vol.17

# Venezuela

[ベネズエラ]

文・写真=小松 義夫 (写真家)

種子を触ると魔法のようにパッと開く  
俗称カカオ・デ・アグアの花。この種子  
を見つけた大人は子どもたちに手渡す

自然に抱かれて育つ  
ワラオの子





A.壁が一つもない家でくつろぐ親子。床はヤシ科の植物の幹で作られている

オリノコデルタに住むワラオ族の家の写真を撮りたかった。日本から南米は遠く、長時間のフライトがづらい。ベネズエラ首都カラカスに着き、そこから小さな飛行機を乗り継いでデルタアマクロ州の州都トゥクピタという町にきた。人口は10万人前後だが陸の孤島のような町で、近隣の町まで200キロ以上ある。

情報収集をしやすいうちにオリノコ川に程近い街中の小さなホテルに泊まった。ホテルの主人がたまたまジャマイカの人で英語が通じた。

川岸にボート屋があったので交渉してデルタを回ることにした。次の日、飲料水、食料などを積んでボートは出発し、6時間ほど下った。オリノコデルタの水路は複雑で、潮の満ち干や川の水の増減でいつも変化している。水路によっては引き潮で水がなくなっていたところもあったし、午前中は塩水で午後は真水になる水路もあるという。ここでは川の水と海の水がせめ



B.デルタアマクロ州の州都トゥクピタの舟付き場。ここから下流に向け出発した

B

C



C.オリノコデルタに住むワラオ族は約2万人。女性たちを運ぶ丸木舟と水路で遭遇した  
D.トゥクピタの空港には小型機しか降り立たない。眼下にオリノコ川が見えた



D

ぎあっているのだ。

1498年、コロンブスが3回目の航海でオリノコ川河口に停泊した。上流から大量の真水が流れ出てくるのでその奥を大陸だと思ったコロンブスたちは、デルタに住むワラオ族を捕らえ調べようとした。しかしワラオの人々は舟で追いかけてくるスペイン人から逃げ切った、という。彼らが熟知する複雑な地形の水路に入り込んだことが功を奏した。



E.ワラオの子どもは親や家族と一緒に“大きな屋根の下で”成長していく



J

J.水路が合流するところに砂の浅瀬がある。子どもたちの格好の遊び場だ  
K.お母さんのお手伝い。オリノコ川の水で食器を洗う



K

小松義夫さんの写真展が開かれます。

「地球のくらし写真展」  
会期：3月28日(日)まで  
10:00～17:00  
※祝日除く月曜休館  
場所：県立地球市民かながわプラザ3F 企画展示室  
入場無料  
問：(財)かながわ国際交流財団 学習サービス課  
TEL：045-896-2899  
URL：http://www.k-i-a.or.jp/plaza/news/komatsuyoshio.html

地球ギャラリー vol.17



I

ワラオ族の村で二泊したが、寝るときは梁にハンモックをつるして休んだ。上手に寝るコツは少々斜めに横になること。すると身体を空中で、エビのように丸まらず、比較的真っすぐに保つことができ快適だ。同じ屋根の下、家の人たちと一緒にたつてぶら下がるのが何だか楽しい。

ワラオ族は子だくさんだ。彼らは家族の愛情に包まれながら「屋根だけの家」で育つ。ということは、オリノコ川、森の木々、小動物や魚、ワニなど豊かな自然とともに命がはぐくまれていくわけだ。きっと、心豊かな人間になるだろう。

この村に来て穏やかな気持ちになったのは、一緒に過ごした大人も子どもも人間としての誇りを持ち、平穩に暮らしているからだと思った。

F.ワラオ族はベネズエラに住む19の原住民族の一つ。オリノコ川の下流域に暮らす。水辺に建つ家には壁が一枚もなく、人々の気質は昔の日本人に似ている気がした  
G.兄弟だろうか？ 仲が良い二人  
H.ワラオ族は子だくさん。母親に甘える男の子  
I.寝心地のよいハンモックは、昼間はソファやいすとして使われる

F



G



H





ララ州で保健・衛生教育を行う看護隊員



オリノコデルタ地帯で、隊員も参加した現地NGOによる環境教育プログラムに集まった村人



口承伝統を残す活動を通じ、先住民の人材育成に取り組む隊員

## JICAの活動 in ベネズエラ

# 貧困・格差の是正、環境問題の克服を

石油の輸出で国の経済は比較的潤っているものの、ベネズエラでは貧富の差や地域・社会格差が広がっている。JICAは主に青年海外協力隊の活動を通じ、貧困削減や格差の是正、環境問題などに取り組んでいる。

石油、天然ガス、鉄鉱石などの天然資源が豊富なベネズエラ。経済では国家総収入の約半分を占める石油の輸出に支えられ、中南米地域ではトップクラスの所得水準を誇る。だが一方で、石油に依存した産業構造は国際価格の変動に脆弱で、先住民を含む低所得者層の貧困問題も深刻化している。そんな中、JICAは主に青年海外協力隊の派遣を通じ、貧困削減や地域・社会格差の是正、環境保全などに取り組んでいる。また、日本へのベネズエラ人研修員の受け入れも積極的に行っている。

オリノコデルタの大自然とともに、自給自足の生活を営んできた先住民ワラオ族。しかし、近年の社会環境、自

然環境の変化でその生活や文化が脅かされつつあり、自給自足が難しくなったことによる貧困問題も生じている。そこで、協力隊が現地NGOとともに活動。植林によるエコ・ツーリズムの促進と生計向上に努めた。

一方、ボリバル州では、地元NGOによる先住民のための教育機関に協力隊が派遣され、各村落に伝わる口承伝統を文字化し、本に残していく活動を支援。先住民の若手リーダーとの共同作業を通じ、貧困、文化・アイデンティティーの喪失といったさまざまな課題に取り組む人材の育成に貢献した。

ララ州では、看護隊員が保健・医療支援を実施。農村巡回診療の中で、生活環境や人々の健康改善のため

の啓発活動、農村医療の質と効率性の向上支援などを行っている。

さらに、日本で行われる研修では、環境、中小企業育成、保健医療、防災などの分野を対象に研修員を受け入れている。また、ベネズエラが日本方式の地上デジタル放送の導入を決めたのを受け、今年2月に約20人の技術者が参加する研修を実施するほか、JICA専門家の派遣も予定されている。

### ■JICAの協力実績(人数ベース) 2009年3月31日現在

	2008年	累計
研修員受入	27人	1,278人
専門家派遣	2人	261人
青年海外協力隊	1人	65人

支所開設 2003年

世界6位の産油国。近年はオリノコ川流域でも石油探査が始まっている。



世界最大の落差を誇るエンジェルフォールは、東京タワーの3倍の高さ。世界遺産に指定されている。



首都：カラカス  
 面積：91万2,050km<sup>2</sup>(日本の約2.4倍)  
 人口：2,790万人(2008年)  
 公用語：スペイン語  
 宗教：国民の大多数がカトリック  
 1人当たり国民総所得(GNI)：12,830ドル(08年)  
 経路：日本からの直行便はなく、カナダ、アメリカ経由が一般的。  
 通貨：ボリバル・フェルテ(VEF) 1VEF=約43円(2010年1月現在)  
 気候：熱帯地域に属しているが、標高により気温は大きく異なる。カラカスがある中央平原は4~10月が雨期、11~3月が乾期。南部のギアナ高地などは年間降水量が多く、雨期にはスコールが毎日のように降る。

地球ギャラリー Vol.17

## Venezuela ベネズエラ

Illustration / Hori Takao



美人大国として有名。過去に5回のミス・ユニバースを輩出している。



野球が盛ん。2009年のWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)では、代表チームがベスト4という好成績を残した。



ベネズエラを代表する料理として、人々に愛されるパベジョン

文・写真=伊勢織穂理 (ベネズエラ元青年海外協力隊員)

- ☆圧力鍋がなければ、肉が軟らかくなるまで3時間程煮る。長ネギの緑色の部分や、セロリの葉などを束ねて一緒に煮るとなお良い。
1. 大きじりの塩と牛かたまり肉を圧力鍋に入れ、牛肉がかぶる程度の水を入れて煮る。圧力がかかっているから極弱火で12分。火を止め、圧力が抜けるまで置く。
  2. すべての野菜類をみじん切りにしておく。
  3. 肉を取り出し、冷めたら手で細かく裂く。ゆで汁はキッチンペーパーなどでこし、2カップ分を取っておく。
  4. プライパンに油を入れてニンニクを炒め、香りが出たらタマネギを加える。火が通ってきたらクミンと残りの野菜類を入れてよく炒める。
  5. 裂いた肉・ゆで汁・スープの素・塩小さじ1・こしょう・ケチャップ・しょうゆを入れてしばらく混ぜ、水分が少し残る程度まで煮込んで完成。

### 「作り方」

### 「カルネ・メチャダ」 【材料(4人前)】

牛かたまり肉(バラ肉、もも肉など)700グラム / タマネギ半個 / 赤ピーマン2個 / ニンニク2片 / 固形スープの素1個 / 塩大さじ1 / 小さじ1 / ケチャップ / しょうゆ各小さじ1 / 油大さじ1 / クミンこしょう(お好み)各少々

ベネズエラの代表的な定食「パベジョン(Pabellón)」。どこの食堂でも食べられる一品だ。ワンプレートに、ライス、カラオタ(黒インゲン豆を塩味に煮たもの)、タハータ(調理用バナナをスライスして揚げたもの)、そして今回紹介する「カルネ・メチャダ」(細切り牛肉を野菜と一緒に煮込んだもの)などの定番メニューと、目玉焼き、チーズがセットになつて出てくる。値段も庶民的で安く、いろいろなお味が一度に楽しめるおすすめの一皿だ。

### ベネズエラ料理 細切り牛肉と 野菜の煮込み 「カルネ・メチャダ」

